

## 研修講師派遣事業

### 大楠校区：地域学サークル 青少年環境サポート事業 講演会「子どもの声に耳を傾けて」

実施年月日	令和元年9月14日（土）
実施場所	大楠公民館 講堂
実施団体	大楠校区青少年育成協議会
参加人数	大人 23人
講師名	チャイルドライン もしもしキモチ 事務局長 三宅 玲子



チャイルドラインに寄せられる  
子どもの声が紹介されました

#### ■事業内容

大楠校区では、地域コミュニティ活性化事業「地域学サークル」として、年間15回ほど講座や講演会を開催しています。今回は子どもの健全育成のために、青少年育成協議会と公民館が共催して実施しました。現代の子どもたちを取り巻く環境を『チャイルドライン』の活動を通してお話いただき、「子どもにそっと寄り添い、子どもの声を聴く」ことの大切さと、地域での心の居場所づくりの必要性を学びました。

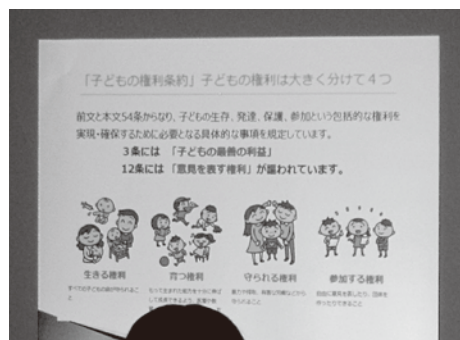
#### ■感想

チャイルドラインとは、18歳までの子どもがかける無料の電話相談窓口であり「悩みは、言葉にした瞬間、小さくなる。」の言葉の通り、専門のボランティアが子どもたちの声に寄り添っています。

今回参加して、初めてチャイルドラインの存在を知った方も多く、紹介された事例から子どもたちの悩みや生きづらさを実感したとの声を聞きました。また以前に比べて、保護者に対する世間の目が厳しくなっているのでは…と感じる話もありました。子育て世代に地域が協力し、より住みやすい町にするためには何が必要なのか…保護者と地域住民が一体となって考えていくことが、何より重要ではないかと考える良いきっかけになりました。



熱心に耳を傾ける参加者



子どもの権利条約について学びました